

オサバグサ	<i>Pteridophyllum racemosum</i> Siebold et Zucc.	絶滅危惧 I 類
		ケシ科
選定理由	分布域の条件が限られている。個体数も少ない。	写真(岐阜県博物館)
形態の特徴	長さ10-20cmの楕円状に羽裂したシダの葉を思わせる数個の葉を根生する。葉の幅2-3cm。根生する葉の中心部から高さ15-25cmの花梗が1個直立する。花は白色、花弁4個、直径1cmほどで半開状。花期は5-6月頃、花梗上部に総状花序を作って咲く。さく果は扁球形で種子が2個入っている。	
生態的特徴	亜高山帯の薄暗い針葉樹林内にまれに生育する常緑の多年草。	
分布状況	1属1種で日本特産(固有種)。本州の中部地方以北に分布する。岐阜県が西限。岐阜県においては飛騨地方(西限)と美濃地方東部に見られる。	
減少要因	元来個体数が少ない上に、生育場所が限られている。	
保全対策	亜高山帯の針葉樹林の保全。	
特記事項	針葉樹林の開発については、慎重に協議し、針葉樹林及びその薄暗さの保全が望まれる。	
参考文献	日本の野生植物 草本Ⅱ 平凡社(1982) 週刊朝日百科 植物の世界91 朝日新聞社(1996) 原色日本植物図鑑 草本編(Ⅱ)離弁花類 保育社(1961)	

文責:三品和子